

7月22日 音楽の祭典
ななしろミュージックフェスタ2017

七城鴨川公園で開催され、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは、菊池市少年少女合唱団による合唱や七城天守太鼓の力強い演奏のほか、シンガーソングライターや演歌歌手が登場して美声を響かせました。今回はサプライズで白龍も登場。餅まきをして祭りを盛り上げました。最後は豪華景品が当たるお楽しみ抽選会が開かれ、子どもから大人まで楽しいひとときを過ごしました。



小雨が降るなか力強い演奏を見せる七城天守太鼓の皆さん

7月22日 第10回科学の祭典 in 菊池
科学の不思議を体験!

第10回科学の祭典 in 菊池が菊池市文化会館小ホールで開催され、家族連れなど多くの子どもたちが実験や体験を楽しみました。子どもたちに科学・理科の面白さを広めることを目的に開催しているもので、市校長会が主催。会場にはスライムやロケット、ブーメランなど10種類以上のブースが並び、参加した子どもたちはスタンプラリーをしながらさまざまな実験に挑戦していました。



先生による実験を注視する子どもたち

7月25日 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
田嶋駿樹さんが活動を報告

JICAの青年海外協力隊としてセネガルに派遣された田嶋駿樹さん(栄町)が、2年の任期を終え帰国しました。大学で小学校の教員免許を取得した田嶋さんは、卒業後すぐにセネガルへ着任。現地の教職員や大学生への授業指導や改善方法を一緒に考える活動を行いました。田嶋さんは「文化や環境が大きく違うところへ行けば視野が広がる。互いの違いも受け入れられる」と語りました。



左から田嶋さん、江頭実市長

7月20日 熊本県乾しいたけ品評会
水口勝之さんが農林水産大臣賞を受賞

平成29年度熊本県乾しいたけ品評会で、水口勝之さん(遊蛇口)が特等賞にあたる農林水産大臣賞を受賞し、報告のため市役所を訪れました。本市生産者の同賞受賞は昨年に続き2年連続です。今回の受賞に水口さんは「良いシイタケができたと手ごたえはあったが、受賞は想像していなかったので驚いた。今後は機械化を進め、低コストで良いものを作りたい」と抱負を語りました。



受賞した水口さん

7月22日 地球の仲間コンサート
宮良多鶴子さん復興応援コンサート

東ティモールで孤児の支援や震災復興支援などを続けるソプラノ歌手、宮良多鶴子さんが菊池みゆきこども園を訪れ、コンサートを開きました。宮良さんはクラシックや日本の歌謡曲、外国の民謡など8曲を披露。東ティモールの現状や復興支援のエピソードなども紹介しました。宮良さんは「地球の未来をつくるのは子どもたち。平和の架け橋を築いていきましょう」と呼びかけました。



園児の保護者や地域住民など約60人が来場し、美声に聞き入っていました。

7月24日 災害時相互応援協定
災害に備えて相互応援協定を締結

佐賀県伊万里市役所で災害時相互応援協定の締結式があり、本市と伊万里市、上益城郡嘉島町の3市町が協定書を交わしました。この協定により地震などの大規模災害時は、3市町が被災者支援に必要な物資機材の提供や職員派遣などを相互に行います。今後は、各市町の災害情報の共有を進め、いざというとき速やかに応援および支援の受け入れができる体制を構築していきます。



左から江頭実市長、塚部芳和伊万里市長、荒木泰臣嘉島町長

7月10日 高齢者叙勲
城敏博さんが瑞宝双光章を受章

元公立小学校長の城敏博さん(東正観寺)が瑞宝双光章を受章し、報告のため市役所を訪れました。城さんは、昭和24年4月から平成2年3月に西合志東小学校校長として定年退職するまで、41年の長きにわたり教育・青少年の健全育成に努めてきました。城さんは「受章はおもいがけないことでとても光栄。これからも健康に注意して妻と一緒に頑張っていきたい」と語りました。



受章した城さん

7月16日 菊池市子ども会
ビーチボールバレー・ソフトボール大会

泗水体育館と泗水小学校グラウンドでビーチボールバレー・ソフトボール大会が開催されました。大会は菊池市子ども会育成協議会(古津理恵会長)の主催で今回で13回目。子どもたちが熱戦を繰り広げ、大いに盛り上がりました。優勝チームは次のとおりです。
【ビーチボールバレー】北住吉・飛熊子ども会、同オープンの部は富の原台区A子ども会
【ソフトボール】川辺子ども会



北住吉・飛熊子ども会(左)、川辺子ども会(右) 優勝チームは県大会へ出場します

7月18日 進出協定
株式会社ニフコ熊本と進出協定締結

株式会社ニフコ熊本(親会社:株式会社ニフコ)が、田島工業団地内に新たに用地を取得し、自動車向けプラスチック部品などの研究開発と製造を行う工場を新設することが決まり、熊本県庁で協定調印式がありました。新工場は平成30年1月に着工予定で、総投資額は約40億円を予定しています。数百人規模の工場となり、うち100人を新たに雇用する予定です。



左から江頭実市長、(株)ニフコ熊本黒田千秋社長、(株)ニフコ山本利行社長、奥園惣幸県商工観光労働部長

7月8日 社会を明るくする運動菊池市集会
犯罪や非行のない社会を目指して

菊池市文化会館で第67回社会を明るくする運動菊池市集会が開催され、市民約500人が参加しました。この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会では菊池市少年少女合唱団の合唱や小中高校生の作文発表のほか、野口義弘さんの講演などがありました。



会場では菊池女子高校茶道部のお手前披露やリサイクル本の無料配布もありました

7月16日 市指定無形民俗芸能
住吉日吉神社雨乞太鼓を奉納

住吉日吉神社で「住吉日吉神社雨乞太鼓」が奉納されました。500年以上前から続く伝統行事で、今年4月、日本遺産に選ばれた構成遺産の一つです。この日は雨乞太鼓保存会の会員が交代しながら太鼓を演奏。2人一組で軽快にばちをさばきながら大きな音を境内に響かせました。保存会の青木家継会長は「日本遺産にも選ばれてうれしい。大切に受け継いでいきたい」と話しました。



太鼓の大きさは直径約1.2m。小バチと大バチの2種類のバチを使って2人で演奏

7月16日 住吉日吉神社
地震で倒壊した鳥居の一部を記念碑に

泗水町住吉の金子美之さん、植島和徳さん、上田照夫さんが、住吉日吉神社の鳥居の一部を記念碑として設置しました。鳥居は1715年に建てられたもので、住民に大切に守られてきましたが、昨年の熊本地震で倒壊。貴重な資料として後世に残そうと、足の部分約1.5mを移して石碑を設置しました。上田さんは「記念碑を大切に守り記録と共に後世に残していきたい」と語りました。



左から金子さん、上田さん

7月30日 七城方面隊操法大会
操法で団結力・防災力アップ

七城総合グラウンド駐車場で菊池市消防団七城方面隊消防操法大会が開催され、21チームが日頃の訓練の成果を披露しました。この大会は、火災現場で重要となる小型ポンプ操法技術の習得、団員の士気向上を目的に毎年開催しています。結果は次のとおりです。

- 【優勝】 第8分団 2部 台・瀬戸口班
- 【2位】 第8分団 1部 岡田・流川班
- 【3位】 第9分団 1部 新古閑班



優勝した台・瀬戸口班

7月30日 菊池ライド 2017
菊池の風を感じよう!

菊池ライド 2017 が開催され、県内外から約 150 人のサイクリストが参加しました。参加者は 68 キロコースと 32 キロコースに分かれて菊池市民広場をスタート。竜門ダムや道の駅などを巡り、菊池のグルメを満喫しながらツーリングを楽しみました。

沿道には市民の皆さんが応援する姿も見られ、「頑張って」と手を振ると、選手たちも手を上げて笑顔で応えていました。



手作りの手旗を振りながら応援する市民の姿もありました

7月27日 株式会社九州イノアック縫製部門新設
明るく楽しい職場づくりを推進

株式会社九州イノアックが高級車種の部品製作を始めるに当たり、縫製部門を新設して8人を新規雇用しました。同社では社員研修に合わせて交流会なども積極的に行い、明るく楽しい職場づくりを進めるほか、地域住民を招いて祭りを開催するなど地域との交流も行っています。管理部の中岡勝幸さんは「これからも積極的に地元雇用をしながら明るい職場環境づくりを進めていきたい」。



新入社員の皆さん。「縫製とミシンに興味のある人はぜひ見学にお越しください」

7月27日 ナイターソフトボール大会
真夏の球宴!永区が制覇

泗水町ナイターソフトボール大会が開催されました。大会には泗水町内の各行政区から 24 チームが参加。6日間にわたり熱戦を繰り広げました。試合中、足が空回りして転倒する人や、ホームランを打って祝福を受ける人もいました。結果は次のとおりです。

- 【優勝】 永区
- 【準優勝】 久米一区
- 【3位】 富の原一区 桜山一区



優勝した永区の皆さん

8月4日 第31回子ども囲碁・将棋大会
小中学生が熱戦! 子ども囲碁・将棋大会

旭志公民館で子ども囲碁・将棋大会が開催され、市内の小中学生 22 人が大人顔負けの白熱した対局を繰り広げました。囲碁の部は参加少数により不成立となりました。成績は次のとおりです。(敬称略)

- 将棋の部【優勝】 松岡怜 (菊池南中1年)
- 【2位】 松元啓和 (菊池南中1年)
- 【3位】 荒木柁太 (泗水東小4年)
- 【敗者戦優勝】 松元生真 (隈府小1年)



参加した子どもたち

8月2日 県中体連全国・九州大会出場報告
全国・九州でも全力プレーで頑張ります

県中体連などで優秀な成績を収め、全国大会や九州大会への出場を決めた市内の中学生が市役所を訪問しました。江頭実市長が「全力を出し切って多くの人の記憶に残るプレーをしてください」とあいさつ。七城中ソフトテニス部の平由仁さんと久川陽生さんは「コーチや両親の支えがあり、優勝できた。感謝の気持ちを胸に九州大会でも優勝し、全国を目指します」と抱負を述べました。



全国・九州大会に出場する選手たち

7月27日・28日 小学生児童への学習支援
菊高生が小学生の学習支援

菊池高校で、生徒が市内の小中学生に勉強を教える「小学生児童への学習支援」が開催されました。小学生の夏休みの勉強を高校生がアドバイスするもので、10年以上行われています。今年は市内の小学校4校から6年生の児童100人が参加。夏休みの自由研究を進めていた児童は「高校生が親身になって優しく教えてくれたので、勉強が進んで良かった。とても楽しかった」と話しました。



高校生からアドバイスを受ける児童たち

7月28日 平成29年度菊池市童話発表会
代表児童が童話発表

七城公民館講堂で菊池市童話発表会が開催され、市内各小学校の代表 17 人が感情豊かに発表しました。優秀賞には、井野彩霞さん(花房小3年)、東乙葉さん(旭志小4年)、小野由布子さん(泗水西小5年)が選ばれました。3人は8月に開催された菊池郡市童話発表大会に市代表として出場。井野さんが最優秀賞を受賞しました。井野さんは、10月7日に開催される県大会に出場します。



発表した児童たち

8月6日 第30回きくち童謡唱歌祭
きれいな歌声を披露しました

菊池市文化会館できくち童謡唱歌祭が開催され、74組(105人)が出場しました。出場した子どもたちは少し緊張しながらも、マイクを使わない澄んだ歌声で会場を包み込み、観客を童謡の世界に引き込んでいました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

- 【宮本トミヨ賞】 辻朋佳 和田野花 (菊池南中3年)
- 【教育長賞】 重森春那 (菊池南中1年)



左から和田野さん、辻さん、重森さん

8月4日~6日 第35回山と海・青少年交流会
菊池の食と自然を満喫

山と海青少年交流会が開催され、菊池ライオンクラブと姉妹提携を結ぶ天草本渡ライオンズクラブの子どもたち 20 人と関係者が本市を訪れました。この交流会は、毎年子どもたちの夏休み期間を利用して行われており、今年で 35 回目。一行は 2 泊 3 日の日程で市内に滞在し、ホストファミリーと交流したほか、菊池夏まつり、和菓子作り、イデベンチャー体験などを楽しみました。



和菓子作りを楽しむ子どもたち

7月29日 地域貢献活動
九州柳河精機株式会社が発電機を寄贈

川辺工業団地内に立地している九州柳河精機株式会社が、市へホンダ発電機エネポ2台を寄贈しました。地域貢献と地域活性化の一環として贈られたもので、同社の「やながわ夏まつり2017」内で贈呈式がありました。発電機は主に災害時の非常用電源として活用するほか、各種イベントでも利用する予定です。江頭実市長は「市民のために活用させていただきます」とお礼を述べました。



安田八洋社長から江頭市長に手渡されました

7月29日 清掃ボランティア作業
測友会がボランティアで清掃作業

市内に事業所を置く測量関係の会社で組織する、測友会(松下益巳会長)の会員 13 人が清掃ボランティア作業を行いました。この活動は平成 20 年度から続けており 10 回目。今回は鴨川河畔公園一帯のゴミ拾いを実施しました。大きなゴミはほとんどありませんでしたが、可燃物ゴミ 14 袋、不燃物ゴミ 2 袋を回収。会員は「今後も菊池市の役に立てるよう続けていきたい」と語りました。



ゴミ拾い作業に汗を流す測友会の会員